

2019年5月29日

株式会社あおぞら銀行

NEWS RELEASE

RISA Vertex Venture Fund への出資について

～ Temasek Holdings Limited 傘下ベンチャーファンドのマスターファンドへ、 外国人投資家として初めて参加 ～

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO)：馬場 信輔、本店：東京都千代田区、以下「当行」）は、シンガポールの政府系投資会社である Temasek Holdings Limited の100%傘下であり主要グローバルベンチャーファンドの一角である、Vertex Venture Holdings Ltd（以下「Vertex 社」）が組成する総額770百万米ドルの第2号マスターファンド（Vertex Master Fund II LP）のゲートウェイファンドである RISA Vertex Venture Fund LP（以下「RVVF」）に出資することで合意し、本日付で出資の一部を実行しましたのでお知らせいたします。

尚、RVVF は、株式会社リサ・パートナーズ（代表取締役社長：成影 善生、本社：東京都港区、以下「リサ社」）により創設されたファンドで、本案件において日本の LP 投資家を取りまとめるゲートウェイの役割を担っています。

今般、Vertex 社が組成するマスターファンドに対して、外国人投資家として初めての参加が実現しました。Vertex 社からは、日本の戦略的投資家が参加することにより、日本が有する技術や知見を最大限活用し、既存投資先や今後の投資先のバリューアップを図る双方向の戦略的関係構築が期待されています。

当行は、Vertex 社の投資先への日本からの技術・サービス提供のサポートを通じて、日本とシンガポールを介したグローバルマーケットとの橋渡し役となることで、日系企業の新たな海外展開の礎を築き、また更なる海外展開への貢献を果たします。

尚、マスターファンドへの参加を通じて、Vertex 社のグローバルな各国の投資チームのネットワークにアクセスすることが可能になるとともに、質の高い情報の取得、各エリア・ターゲットファンドへの発言権確保及び分散投資等が可能となります。

当行は、今後とも、ユニークで専門性の高いサービスの拡充に努め、“あおぞら”らしさに磨きをかけることで、“進化する「頼れる、もうひとつのパートナーバンク」”として、お客さまに対して付加価値の高いソリューションを提供してまいります。

<Vertex 社について>

Vertex 社は、主に情報通信技術及びヘルスケアを投資対象としたベンチャー投資会社であり、グループで多くの専門スタッフを抱え、世界各地に拠点を有しています（イスラエル、シリコンバレー、中国、シンガポール、インド等、計8カ所）。この拠点網により、グローバルのユニコーン企業の8割をカバーしています。また、Vertex 社は、第2号マスターファンドも含め、合計2,200百万米ドル以上の運用実績がある、グローバルでも有数のベンチャー投資会社です。

<リサ社について>

リサ社は、1998年設立の投資会社で、NECキャピタルソリューション株式会社の子会社です。投資会社として、金融を軸に不動産に至るまで多様なマーケットにて、様々なビジネスを手がけており、日本生まれ日本育ちの「投資銀行」として事業展開しています。今後も、様々な分野で事業を展開・発展し、「ナンバーワン・オンリーワンの投資銀行」としての道を目指しています。

<ファンド概要>

ファンド名称： RISA Vertex Venture Fund LP

組成日： 2019年3月13日

ファンド総額： US70百万ドル

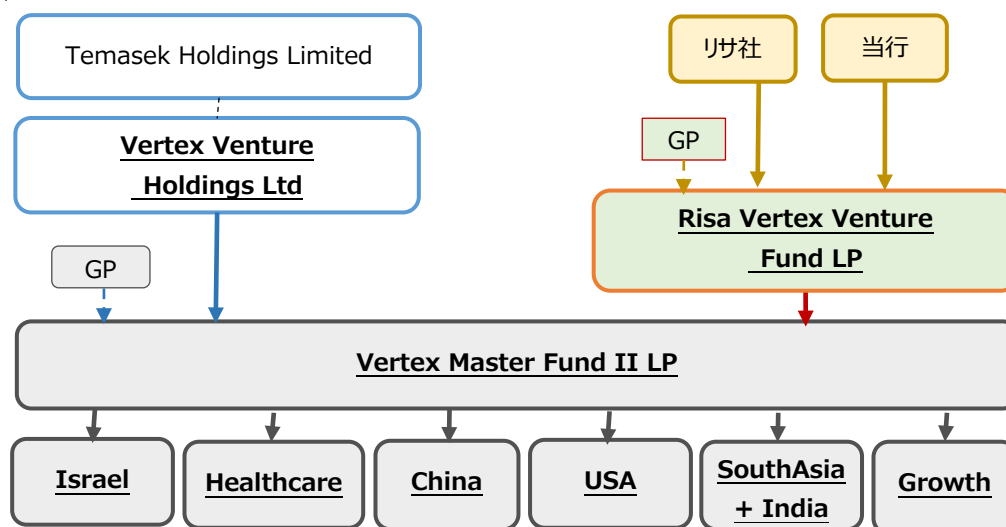
(コミットメントベース：2019年5月29日現在)

General Partner： RISA Vertex Venture Fund GP Pte. Ltd.

Limited Partner： リサ社、当行（2019年5月29日現在）

ファンド期間： 存続期間10年（必要に応じて延長を行うこともあります）

<スキーム図>



(報道関係のお問合せ先：経営企画部 広報室 後藤 03-6752-1217)